

3年生の声③

音更町立共栄中学校出身

【外野手】

このたび、市内の病院事務の内定を頂くことができました。

私が内定を頂くことができたのも、夏の大会後も忙しい中、面接練習をしていただいた先生方、そして、南商野球部のOB・OGの方々ははじめとする卒業生が社会で活躍され評価されているからだと考えています。

引退してから、いくら頑張っても進路は限られてしまいますので、南商野球部では野球だけではなく、勉強にもしっかりと取り組むという「文武両道」をモットーに活動しています。

シーズン中は練習が忙しいため、勉強に集中して取り組むことは難しいのですが、南商野球部では、高校卒業後の進路実現のために定期テストや検定前には勉強会を開きます。勉強が苦手な私でも、全商検定1級を5種目取得することができました。

また、野球では他の学校に負けない環境設備が整っており、また週末には旭川や札幌で強豪校と練習試合をすることで「同じ年代にはまだまだうまいやつがいる」と帯広に帰ってきてからの練習の励みになります。

その中でも勉強や野球を通じての心の成長、これが私にとっての1番の成長だと思います。毎日朝早くから、夜おそくまでの練習は確かに辛いですが、仲間と支えあい、どんな困難にも乗り越えてきたことで忍耐力・継続力・協調性が身につきました。

充実した3年間を送り、私の希望通りの就職先が決まったことも南商野球部に入部したからできたことだと思います。南商野球部に入って本当によかったと思っています。

どの高校に行こうかと迷っている中学生の皆さん！野球に思いっきり打ち込みながら、卒業後の将来のことも考えられる南商野球部で高校野球3年間を送ってみませんか。

(3年生にしか分からない思いがたくさんあります→)



帯広市立第四中学校出身

【内野手】

私は北海学園大学経営学部経営情報学科に合格をいただくことができました。

入学した時は進学なのか就職なのか、まだはっきりとしていませんでしたが、南商野球部に入り野球をしながら学習にもしっかり取り組む環境の中で、自分の人生について真剣に考えられるようになりました。そこで、高校卒業後は4年制大学に進学し専門的な知識を身につけ、人間としての幅をまだまだ広げたいと思うようになりました。南商は商業高校なので、一般的には就職というイメージが大きいとは思いますが、私も含め南商から4年制大学に進学できる道もしっかりと用意されています。

南商野球部に入り、将来必要とされる資格を取得することで自分自身の知識・人間性を今以上に高めるための大学進学を実現することができました。そして1番肝心の野球は他の学校に負けないぐらいの施設環境の中で、思う存分プレーできたことに大変満足しています。このような経験や成果を出せたことに対して、家族をはじめとして、支えてくれた方々に感謝しています。充実した施設環境の中で様々なことを経験できたことも、学習や資格取得で成果を上げられたことも、そして自分の夢であった大学進学を実現することができたのも全て南商野球部だからこそ成し遂げた結果だと思っています。

高校野球が終わり、卒業を前に今までの生活を振り返ってみると、正直辛いことや苦しいこと、思いどおりにいかなかったことがたくさんありました。しかし、そのような経験をさせてもらったことで今では色々なことを素直に受け止め、感じられるようになりました。自分はこの南商野球部で高校野球を経験し、人間的に大きく成長することができました。

野球に全力で取り組むとともに希望通りの進路を実現したいという中学生の皆さん、一度しかない高校野球を南商野球部で過ごしてみませんか？